第 6 回脱タバコ社会実現委員会ミニシンポジウム

6^{th} Committee for Tobacco-Free Society Mini-Symposium

脱タバコ社会実現委員会委員長　長尾　徹

NAGAO Toru, Committee Chairman for Tobacco-Free Society

第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会において脱タバコ社会実現委員会併催会議として，ミニシンポジウムを開催します．今回は歯科系 9 学会合同脱タバコ社会実現委員会（委員長：福田仁一・大分歯科専門学校）が実施してきました「口腔疾患に対する禁煙の効果：多施設共同研究」の結果が出ましたので，その概要を報告します．

会員の先生方の積極的なご参加を期待しています．

日　　時：11/13（土）　13：10 ～ 14：10（※時間は多少変更の可能性があります．）

開催形式：現地開催は行わず，LIVE で WEB 上での発表＋オンデマンド配信

講 演 者：愛知学院大学歯学部顎顔面外科学講座教授　長尾　徹

Speaker　：Professor Toru NAGAO, Department of Maxillofacial Surgery, School of Dentistry, Aichi Gakuin University

演 題 名：「歯科医師による禁煙介入」

Tobacco cessation intervention by dentists

座　　長：神奈川歯科大学歯学部　歯科インプラント学講座　顎・口腔インプラント学分野　教授　河奈裕正

Chair　　：Professor Hiromasa KAWANA, Department of Oral and Maxillofacial Implantology, Kanagawa Dental University, Kanagawa, Japan

抄録

歯科医師による禁煙介入

Tobacco cessation intervention by dentists

愛知学院大学歯学部顎顔面外科学講座教授
長尾　徹
Toru NAGAO
Department of Maxillofacial Surgery, School of Dentistry, Aichi Gakuin University

歯科領域における禁煙介入に関するシステマティックレビューでは，歯科医療従事者による口腔診査に組み込まれた禁煙のための行動介入は，高い禁煙率を得る可能性があることが示されています．（Carr et al. 2012, Cochrane Database Syst Rev.）

今回，歯科系 9 学会合同の歯科口腔疾患患者（歯周病，口腔前がん病変，インプラント治療）に歯科医師が禁煙支援・治療を行い，禁煙継続率と禁煙による口腔疾患の改善を明らかにすることを目的にした前向き多施設介入研究を実施しました．研究に参加したすべての歯科医師は，日本禁煙トレーニングプロジェクト（J-STOP）の e ラーニング（https://www.j-stop.jp/）の禁煙教育プログラムを完了しました．禁煙介入は，ニコチン置換療法の有無にかかわらず 8 週間実施され，12 か月のフォローアップが行われました．合計 74 人の患者が研究に登録され，そのうち 61 人の患者が禁煙介入に同意し，生化学評価で確認された平均禁煙成功率は，3 か月目で 37.7%，6 か月目で 34.4%，12 か月目で 32.8%でした．（Nagao et al. A multicentre tobacco cessation intervention study in the dental setting in Japan. Int Dent J. 2021;17:S0020-6539（21）00040-X.）

本研究結果は，日常臨床の中で歯科医師自身が喫煙関連の口腔疾患の治療とともに生活習慣病の最大のリスク因子である喫煙習慣の改善に関与する意義が大きいことを示しています．今後歯科医師の禁煙指導に対する卒前卒後の歯学教育の充実が望まれます．本講演ではこの研究結果の概要についてお話しいたします．

略歴

1980 年　3 月　愛知学院大学歯学部歯学科卒業
1999 年　4 月　WHO 口腔がん研究協力センター・ロンドン大学キングスカレッジ歯学部留学・客員上級研究員（1 年間）
2006 年　4 月　岡崎市民病院歯科口腔外科統括部長
2017 年 12 月　愛知学院大学歯学部顎顔面外科学講座主任教授
2021 年　4 月　WHO IARC（国際がん研究機関）・口腔がん予防テンポラリー・アドバイザー
現在に至る

所属学会

日本口腔外科学会（理事），アジア口腔顎顔面外科学会（理事），ほか